



め た せ こ い あ

よしか祭のあとで

校長 勝部 千良

9月1日(金)から3日間にわたり開催されたよしか祭につきまして、地域の方にもご来場いただき、大変ありがとうございました。ここ3年間は新型コロナウイルス感染症対策のため、いろいろな制限をしながらの開催でしたが、今年はテーマを「祭(さい)出発」として、ほぼ従来の形態で実施することができました。もとの形に戻すだけでなく、内容に新たな工夫を凝らしながらの開催で、素晴らしい学園祭となったと思います。講演会、ステージでの生徒会企画、有志企画、各部・委員会展示、学年ブース、そして体育祭など吉高生が全員、場面ごとに主役となり、活躍する姿に感動いたしました。また、PTA屋台では保護者の方に大変ご尽力いただき、おいしいカレーライス、フランクフルトの販売をしていただきました。

さて、体育祭閉会式の挨拶でも述べたことですが、祭りのあとには独特の寂しさ、虚しさを感じるものです。この非日常がもう少し続いてほしいといった気持ちになることもあります。特に受験を間近に控えた高3生に対して、総体後と学園祭後にはしっかりとした気持ちの切り替えが必要だと以前から高校現場ではよく言われてきました。学園祭という楽しみだった行事も終わり、本校の生徒たちも日常に戻り、授業、模試、就職や進学に向けての出願書類の作成、面接練習、試験勉強、部活動などに励んでいます。学園祭という非日常の時間を思い切り楽しんだからこそ、その後に感じる寂しさ、虚しさは大きいのだと思います。非日常が何日も続くと、それはもはや非日常ではなくなります。限られた期間だからこそ打ち込めるという面もあり、開催本番に間に合わせるための段取り力も養われます。祭りの後の寂しさ、虚しさに打ち勝ち、日常での高校生活をいっそう充実させてほしいと願っています。

デートDV防止講座(1年生)

9月7日(木)5限、益田児童相談所の福井久雄さん・三輪麻里子さんを講師としてお招きし、1年生を対象にデートDV防止講座を実施していただきました。

講話やグループワークを通じて、1年生たちは自身の価値観を振り返ったり、相手を尊重する関係づくりについて考えたりするなど、それぞれが自分なりにデートDV問題に関する知識や考えを深めている様子でした。



進路講演会（1・2年生）



9月15日（金）3限（1年生向け）・4限（2年生向け）に進路講演会が行われました。

講師は、毎年本校に来てくださっている、「劇団ザ・ドクターイエロー」代表・ライセンスアカデミー専属講師の竹下しんいち先生と、同劇団長でタレントの土屋ひな先生（band's company 所属）です。

何でも「やってみたい」と感じたらチャレンジすること、それで「違うな」「自分には向いてないな」と感じても落ち込まず、自己理解が深まったと前向きにとらえていくこと等、進路選択のヒントになるお話をさせていただきました。

地域環境科学の授業で長瀬峡へ（3年生）

吉賀高校は学校設定教科として「地域環境科学」を設定しています。この教科の科目には、「環境基礎」（2年次選択）、「環境演習」（3年次選択）の授業があり、生徒たちは地域の歴史をふまつつ「どのようにして環境を守るか」、「どのようにして持続可能な地域社会をつくっていくか」を考えていきます。

9月8日（金）、この科目を選択している3年2組の生徒たちが長瀬峡（吉賀町田野原）を訪れました。生徒たちは実際に水の中へ入ったり、周囲の豊かな自然を観察したりと、美しい水辺での学びを堪能していました。



大井谷棚田で稲刈りをしました

9月17日（日）穏やかな陽気の中、本校生徒と職員たちが大井谷の棚田で稲刈り体験を行いました。生徒たちは、めったに味わえない自然の中での体験を満喫し、吉賀町の美しい景色を楽しんでいました。豊かな実りと、稲作に協力してくださった皆さんに感謝です！

